

エスキュービズム「EC-Orange」

低価格で構築、カスタマイズも自在

エスキュービズム(本社東京、菱崎敬祐社長、
☎03-5297-7787)

は、オープンソースECパッケージの「EC-CUBE」をもとに、独自のネットショップ構築サービス「EC-Orange」を提供している。

一般的な商用パッケージとの違いは、コスト面とカスタマイズの自在性。オープンソースという性格上、ライセンス費用がかからず、ランニングコストを大幅に削減できる。実際、サイト運営費用に1000万円を投下していたが、導入後250万円まで減少したというEC事業者の事例があるという。

オープンソースは、ソフトウェアの設計図にあたるソースコードが無償で公開されているため、誰でもソフトウェアの改良が行える。そのためカスタマイズはEC事業者自らが行うこともでき、追加開発コストの削減も期待できる。

「EC-Orange」は「モール」「ショップ」「モバイル」という3つの基本パッケージに分かれており、なかでもヒット商品と自社が自信を見せるのが「モール」。自社でポータルサイトを運営できるパッケージで、商品やターゲット別に複数のサイトを運営したり、他社サイトを誘致し販売手数料を取るなどといった使い方が可能だ。

対象は、年間EC売上高が500万円から30億円規模の企業。すでに60社ほどの導入実績があるという。